

Heart

第108号

to

心から心へ

Heart

2025.9.10

これからも
生涯青春!!



永年勤続表彰 55年!!

令和7年 株式会社武蔵屋
ひまわり社員さん ありがとうの会



ひまわり社員さん ありがとうの会

2025年8月24日(日) 浦和ロイヤルパインズホテル

2025年7月7日(日) 横浜支店



2025年7月8日(火) 東京本部



第33期 さわやか社員研修会



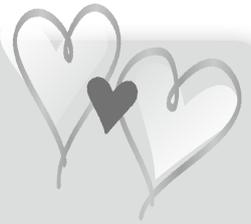
2025年7月2日(火) 東京本部

— ビルメンの先を見据えるプロ集団 —

新日本ビルサービス株式会社



SHIN-NIHON
GROUP



ビジョンを地域社会の夢と力に



新日本ビルサービス株式会社 社長 関根 一成

お元気ですか！いつもありがとうございます。さいます！記録的な酷暑が続く中で、日々一所懸命にお仕事に励む、さわやか社員の皆さんに心から感謝申し上げます。

33期さわやか社員研修会で元気澁刺



▲第33期さわやか社員研修会で元気澁刺に生涯青春!!

なさわやか社員さんと仕事と人生を語り合い、2時間という短い時間であっても一瞬で一体感が生まれ、力と勇気と信念が沸き上がってきました。働くことが生きる力そのもの！楽しく働ける職場にしましょう！

夢とビジョンが持つ力

私たち新日本ビルサービスがNPOの国地域活性化協会のエンジェル企業として、地域社会を元気にする「彩の国マルシェ」という地域創生事業を埼玉県内外12箇所、年間72日間開催しているをご存知でしょうか。

約1400事業者の皆さんが丹精込めて作っている農産物やフード(ベーカリー・スイーツ・珈琲・ハーブティーなど)、ハンドクラフト、子供たちを育むワークショップ、キッチンカー等を、集客力のある駅前広場や駅高架下、商業施設、スタジアム、公園などで展開しています。来場者の方々には、ここにしかない美味しさとモノとコトを楽しんでいただき、もの凄い盛り上がりになっています。

2008年に埼玉県北部での地域共創を目的に活動を開始した彩の国マル

シェ草創期から一緒に取り組んでいるALL MY TEA(オールマイティー)の田部井秀明社長は、奥さまが丹精込めて作られたハーブティーを世に広めたいと、出店してくださいました。その美味しさが評判となり、ヨーロッパITQ(国際味覚審査機構)コンテストに出品し、最高金賞の三ツ星を3年連続で受賞する快挙となり、今、オールマイティーさんのハーブティーの味と作り方が世界基準となつています。全国に6店舗の直営店を出店されるまでに成長された田部井社長は、彩の国マルシェ1400事業者の目標であり、スターです。

今回、田部井社長に(株)エストインターナショナルの大塚 恵社長をご紹介しました。大塚社長はAUXPARADIS(オウパラディ)という女性に大人気のシヨップ(香水と石鹸、ヘルナッツのお菓子)を自社ブランドでルミネなど全国各地の駅ビルで展開されています。

大塚社長はCEC経営塾という勉強会で出逢った素晴らしい経営者ですが、彼女は東日本大震災で放射能に汚染された那須高原の2万8000坪の広大なガーデンを除染覚悟で買い取り、物流機能と併せてガーデンオウパラディとしてカフェとシヨップをオープンさ

せ、もの凄い集客となっています。

更に、栃木県茂木市の皆さんからぜひ進出して欲しいと熱いラブコールがあり、何と5万4000坪の農園を買い取り、ヘーゼルナッツ栽培と加工工場と農園カフェを2030年までにオープンさせるそうです。

大塚社長と田部井社長の目指しているビジョンと扱っている商品構成が凄くマッチしていると思ひ、お二人が直接交流することで何か新しい価値が生まれるのではないかと直感し、その通りになりました。

以前、大塚さんが那須高原のガーデンオウパラディの夢とビジョンを自身で描かれた絵を見せてもらいましたが、茂木の農園カフェも夢とビジョンを鮮明に描くことで、とてつもない力と勇気と信念となり、実現する真理を体感しました。

大塚さんは「夢とビジョンがあれば、あきらめるとい言葉がない」と言われ、オールマイティーの田部井社長を勇気づけてくださいました。

ビジョンを地域社会の夢と力に

2040年に生産年齢人口が1100万人減少する確実な予測があり、日本は本格的な人口減少、構造的な労働

力供給制約の時代に入りました(生活維持サービスが成り立たない時代)。

「今後、日本社会がより良い社会(より多くの国民がそれぞれに豊かに愉快地暮らしていける社会)として持続するには、7割を占めるローカル経済圏が豊かなくてはならない。

これはより多くの日本人の幸福や人生の充実度に関わる問題であり、生産性の向上と消費力の持続性の循環という脈絡では、経済の適度な持続成長の条件にもなる。

少なくとも8000万人程度への人口減少が所与のなかで、美しい日本の国土を守り、そこで安全かつ豊かに暮らしていくためには、辛抱強くコンパクト&ネットワークで中核都市と幹線道路沿いへの集住を進め、それに合わせてハード整備とインフラメンテナンスをサイバー技術・デジタル技術と連動して効率的に行うことが必須となる。

「ホワイトカラー消滅 私たちは働き方をどう変えるべきか」
富山和彦著 NHK出版新書

私たちビルメンテナンス業界も今のままでは現場が成り立たず、当社は労働集約型のビルメン会社として付加価値労働生産性を高めるために、清掃ロボットやBIMアーキバス(統合ワイヤレス管理システム)に取り組み、

徹底した機械化・自動化に挑戦しています。

現在、約300台の清掃ロボットを導入していますが、人・さわやか社員さんと、ロボットと、防汚技術を最適に組み合わせたメンテナンスに再設計し、5S実践で衆知を集めた改善活動を進化しながら継続していきます。

新日本ビルサービスの本業であるビルメンテナンスにDXを活用して付加価値労働生産性を各段に高め、彩の国マルシェによる生活の豊かさ、楽しさを提供し、集住のきっかけづくりを行うことは、地域社会の課題解決に大きく貢献し、国が進める「地域インフラ再生戦略マネジメント(各地域の将来像に基づき、複数・広域・他分野のインフラを「群」として捉え、総合的かつ多角的な視点から戦略的に地域のインフラをマネジメントすること)」に真正面から参画できるイニシアティブを持つことに繋がると思っています。

千葉県船橋市でタウン誌のMYFUNaとマルシェで地域創生事業として立派に経営されている山崎健太郎社長から素晴らしいメッセージを頂きました。

「大きな売上をあげて納税することは絶対に大切なことです。たかさんの人を雇用することも経営者の責務だと思

います。それと同じくらいに、地域を愛する人たちに地域での体験や活動の場を提供することで自己実現を果たしてもらおう機会を提供すること。地域を大きな枠で捉えてデザインすることも経営者にとって必要な仕事だと感じています。

株式会社MYふなばし
株式会社フィット

代表取締役 山崎健太郎さま

私たちのビジョン「ファシリティに集う人々が愛と笑顔に包まれた、躍動する世界の実現」に挑戦することで、地域社会の夢と力になります。

さわやか社員の皆さんと共に、生涯青春!で挑戦してまいります。
さあ、共にがんばろう!



▲那須高原の新しい名所となった2万8000坪の広大なガーデンオウパラディ。

第33期 さわやか社員研修会スタート!!

～働くことが生きる力そのもの！ 楽しく考働する職場にしよう！～

東京業務部 部長 山岸 弘忠



さわやか社員のみなさん、こんにちは。日々のお仕事、ありがとうございます。

今期もさわやか社員研修会がスタートいたしました。「さわやか社員の基本ルール」をメインに、今期も安全管理を含めて現場での基本動作、身だしなみ、備品類の取り扱いや鍵に関するルールなどを5S清流化冊子を用いてみなさんと一緒に再確認をしていきたいと思っております。また、この研修会がさわやか社員さん同志のコミュニケーションの場となり、お互いが現場の改善や働きやすさにつながる情報交換の場になれば幸いです。

5Sの骨子

・働く人たちのために

その事業体の仕事は、そこに働く人たちが全てを担っている
働く人が、安全・安心して働きやすい環境を作る

・真理を追究する

すべての目の前の仕事を疑い、真実を追究する
改善のない事業体は、やがて衰退する



■ 5Sの定義 (Sの意味)

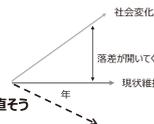
新日本ビルサービス(SNB)の5Sは、本質の3S (整理・清掃・整頓) +SNBの2S (スマイル・さわやか) です。

- 整 理(SEIRI)
要るモノと要らないモノを分け、要らないモノを捨てること
- 清 掃(SEISO)
いつもキレイに係つこと(初期清掃と点検清掃・保全清掃がある)
- 整 列(SEIRETU)
要るモノを直角並行にきちんと並べること
- 整 頓(SEITON)
必要なモノがすぐに取り出せ、かつすぐに戻せること
- スマイル(SUMAIRU)
ニコニコ・キビキビ・ハキハキと、明るく元気に笑顔で挨拶
- さわやか (SAWAYAKA)
礼儀正しく、磨練の心で、親愛と、プロとしてのサービスを提供する

参加者全員で
読み合わせを
します!!

5Sの目的

- ① 自分のために
・自分たちの職場の環境を磨きあげよう
・もっと仕事をやりやすくしよう
- ② お客様のために
・社員満足が顧客満足を生む
- ③ 社会のために
- ④ すべての周囲の仕事を、
もっと良くなるという目で見直そう



結果として...会社のためになる(=企業存続)

5Sの効果

- ① 安全性向上
 - ② 品質向上
 - ③ 生産性向上
 - ④ 在庫の削減
 - ⑤ 予防保全
 - ⑥ スペースの確保
 - ⑦ 職場環境が磨かれる
 - ⑧ よく見える職場になる
 - ⑨ 仕事が楽しくなる
 - ⑩ 職場のコミュニケーションが良くなる
- ...etc.



研修の教科書 “5S清流化冊子”



活発な意見交換で
切磋琢磨します。



他の事業所の方との
コミュニケーションは気づきが
沢山!!



締めくくりは“生涯青春!!”



研修に参加された皆さんの感想をご紹介します。

- 5Sの整理・清掃・整列・整頓は、自分の生活でも役立つと思いました。社長と初めてお会いして楽しく研修させていただきました。参加してよかったです。
- 他の現場の方々とコミュニケーションが取れてとても良かったです。改めて清掃の重要性や必要性も再認識しました。社長の元気さ、パワフルさに感動！
- このままで素晴らしい会社とっておりますし、“誇り”に思い“自慢”も出来ます。働かせていただいている事、毎日、毎日が大切な時間と想い、頑張っております。感謝しています。
- 他の事業所の方と交流ができて良かったです。もっとお話がしたかったです。今回は働くことの意義について学びました。早くお掃除ロボットを導入して欲しいです。
- 日々、単純に仕事を真面目に、ていねいにする事を心掛けていましたが、今回の研修会で“場を清める”、“礼を正す”という意識を強く持ち、仕事をさせていただけることに感謝して、頑張っていきたいと思いました。
- “働くことが生きる力そのもの”ということは、私も働くことをライフワークと考えて、ずっと仕事をしてきました。これからも長く働いていきたいと思います。

❀ 永年勤続表彰 ❀

勤続5年ごとの永年勤続表彰。今回は総勢158名のさわやか社員の皆さんが対象となりました!!
掲載できなかった対象の皆さんもありがとうございます!!
これからも表彰目指して生涯青春しましょう!!

埼玉本社 ▼永年勤続20年 塩野信子さん



▼永年勤続5年 中太節子さん



▲永年勤続5年 木場美津子さん

東京本部 ▼永年勤続5年 キンミョウテツさん



▲永年勤続20年 細田澄子さん

▼永年勤続15年 岩壁口キンナンさん



横浜支店 ▼永年勤続5年 吉江光代さん



▼永年勤続10年 生越孝子さん



▲永年勤続5年 久下佳代さん



〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307 JR宇都宮線「東大宮駅」スクールバス5分 徒歩20分



▲学生の憩いの場
芝生広場。

▼100周年に向けて2026年4月に新校舎は供用開始(7階建 延床面積2万1664㎡)



■新校舎概要
スポーツ工学
各種研究施設
新体育館
e-スポーツスタジオ
地域健康増進センター

また、大学管理課の皆様には弊社の取り組みを好意的に受け止めてくれ、6月から清掃ロボットを試験導入させていただき、改めて感謝申し上げます。現場で清掃を行う「さわやか社員」は前清掃会社から移籍された方々も含め総勢37名となり、責任感のある心強いメンバーが揃っております。

まだまだ至らない点ばかりですが、さわやか社員とともに芝浦工業大学様、エスアイテック様に「新日本ビルサービスマスターに替えて良かった。」と言ってもらえる現場づくりに邁進してまいります。

エスアイテックの山田所長、穴澤課長からは日々厳しくも優しくご指導いただいております。現在は少しずつ落ち着いてきておりますが、スタート当初は私自身も不安に感じるなか、お二人には深く励まされ本当に感謝しております。

また、2027年で100周年、大宮キャンパスも来年で60周年を迎える伝統校です。



埼玉事業部
田口 大悟

学校法人芝浦工業大学
大宮キャンパス

管理部管理課

芝田 真澄様



芝浦工業大学は1927年に創設者有元史郎が開設した学校で「世界に学び世界に貢献するグローバル人材の育成」を建学の精神としております。

現在、大学については東京の豊洲にあります「豊洲キャンパス」と新日本ビルサービス株式会社様の本社近隣にあります「大宮キャンパス」がございます。

2025年4月より清掃業務でお世話になっておりますが、従前に増して構内が明るく綺麗になったと感じております。また大変情熱的な関根社長様より、日々さまざまなご提案をいただき感謝しております。例えばその中の一つでありますロボット掃除機の試験運用なども、今後の発展的な展開が楽しみです。

今後は清掃業務に関わらず、本学教員との連携活動など産学連携させていただけることは両者にとってかけがえのない財産になるかと思っております。

今後も末永くパートナーシップを築いてまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社エスアイテック 施設管理部

大宮管理事務所所長 山田サトシ様



立された会社です。

当大宮管理事務所はキャンパスの円滑な運用と安心・安全・快適な環境提供を目指して、設備保守・警備・清掃・学パス運行・植栽管理その他の一元管理により、品質の向上と効率化に取り組んでいます。

このたび貴社と新たなご縁を戴きましてお付き合いをさせて頂き戴く事となりました。本社とキャンパスが近い事もあり大変身近に感じる事と本社支援体制が充実していること、情熱的な関根社長様以下積極的なご提案を戴いていること、そして何より従業員の方々を大切にされている姿勢を見てお付き合いをさせて頂いた事を大変うれしく思っております。

大宮キャンパスは主要建物16棟及びその他施設と自然に囲まれ、学生・教職員他併せて約5000人が通っています。その施設管理業務の中でも重要な役割を果たす清掃業務は、授業や様々な活動により受ける時間の制約や、季節により日々変わる外部環境及び学生教職員の活動やイベントによる対応など数々の対応をする事となり、目に見えぬご苦労があると思っておりますが、在籍37名の方々に清潔で快適な環境を提供すべく頑張っておりまして、おかげ様で綺麗なキャンパスであると外部から高評価を戴いております。

更に、効率的な業務の為に清掃ロボット導入に関しても積極的にご提案を戴いており、また、一体となった取り組みを今後継続して行っていくと考えています。

2027年の大学創立100周年を控え現在建設中の新棟運用が来春より始まります。また、その後段階的に施設の改編が進むこともあり、更に清掃業務範囲が拡大されていきます。

今後は互いに信頼関係を深めながら、良好なパートナーシップを築いてまいりたいと思っております。貴社の皆様のご尽力に心より感謝申し上げますとともに、末永いお付き合いをよろしくお願ひいたします。



▲現場の主力メンバーたち。

技能実習生3名も活躍。左からシュンさん、シユエさん、エインさん。



◀外回りも綺麗にブローアーを掛ける須貝浩司さん。



◀掃除機はバッテリー式で統一。カーペットスライパーを掛ける菅野正子さん。



◀大量のゴミも軽トラで運搬する澁谷充政さん。



▶さわやか社員で定期清掃も実施。左から古口和夫さん、倉持栄二さん、菅谷泰孝さん。





〒290-0142 千葉県市原市ちはら台南6-1-11 TEL: 0436-52-1177 営業時間 9:30~21:00

新鮮な青果売り場も所狭しと様々な旬の商品が並びます。



▲品揃え豊富なフレッシュミート売り場。



▼セルフレジの導入でお客様の利便性を高めています。



日々努めて参ります。皆様、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

皆様こんにちは!!
2025年2月1日より日常・定期清掃業務をお任せ
いただいている、せんだうちはら台店さまを紹介します。
株式会社せんだうさまは昭和44年に設立され、ちはら
台店は4番目に開店した店舗です。
ちはら台は千葉市と市原市の両市にまたがっているこ
とから、それぞれの名前から一字ずつ取って「千原台」
となったニュータウンにせんだうちはら台店さまは立地
しています。
現場は4名在籍のさわやか社員の皆さんが朝5時から
8時までの3時間での作業で店舗内床清掃を中心に作業
を実施しております。
80代の方から10代の方まで幅広い年齢層で皆さん元気に
作業しております。
お客様に快適な環境をご提供できる様、皆で
日々努めて参ります。



東京業務部第二課 川瀬 良和



▲自動洗浄機を使用して床を綺麗にしています。



▲▼ガラスもトイレもピカピカに磨き上げます。



▼自動洗浄機での清掃の後、モップで汚れが落ちていないところを仕上げます。



▲外回りもモップで綺麗に仕上げます。



せんだう ちはら台店

店長 東條 功様

当店は千葉県市原市ちはら台南にあり、約2000㎡の面積とせんだう店舗の中でも大型店の部類になります。平成元年4月にオープンし、平成18年12月に現在の店舗に移転しました。

新日本ビルサービス株式会社様とは今までグリストラップ清掃でお世話になっており、今年の2月から日常・定期清掃業務も行っているため、早朝からの清掃業務ではありますが、さわやか社員の皆様には元氣よく対応していただいております。皆様もお近くにお越しにいただいた際にはぜひ立ち寄りください。今後ともよろしくお願い致します。



▲左：柿尾 鉄雄さん 右：新野 奏心さん



▲左：福島 章さん 右：宗形 喜廣さん

4人とも早朝からがんばっています!!



コープかすかべテラス
〒344-0062 埼玉県春日部市粕壁東1-20-30

東武線「春日部」駅徒歩7分。
地域の暮らしを豊かにするにぎわいを創出します。



◀ どれにしようか迷うほど種類豊富な
お総菜コーナー。



▲ 焼きたてのベーカリーコーナー。

▶ 旬の果物が揃っています！
青果コーナー！



コープかすかべテラスには、コープかすかべ東店様以外にも飲食店、フィットネスクラブ、美容室等のテナント様も入っており、毎日多くのお客様で賑わっています。
是非ご来店下さい！

弊社ではこの度日常清掃、定期清掃を中心に業務を承り、各部門連携を取りながら管理させていただいております。日常清掃では午前2名・午後2名体制で、コープ様店舗内や共用部のトイレや廊下などを清掃しており、定期清掃では床清掃をはじめ、ガラス清掃やフィルター清掃等も行っており、日常清掃と定期清掃を確実に進めていく事で、来店されるお客様や従業員の皆様に快適な環境をお届け出来るよう日々業務に励んでおります。

皆さんこんにちは。
今回紹介させていただいたのはコープみらいのコープかすかべ東店様です。
コープかすかべ東店様は春日部駅から徒歩7分の所にあり、コープかすかべテラス1階に6月10日にオープンしました。



F.M. 営業部 F.M. 第一営業課
足助 貴秀

生活協同組合コープみらい コープかすかべ東店



店長 横川 嘉信様
よこかわ かしん

コープかすかべ東店は、埼玉県春日部市中心の春日部駅東口より徒歩7分の場所に位置する50坪タイプの食品スーパーマーケットです。2025年6月10日に商業施設コープかすかべテラスの1Fにオープン致しました。

コープかすかべテラスは、当店を含む、医療・調剤、飲食、クリーニング、フィットネスなどのテナントを配置した利便性の高い施設となっており、労働総合庁舎として春日部労働基準監督署と春日部公共職業安定所が入所しております。

私は、新日本ビルサービス株式会社様と、今回初めてお付き合いさせて頂きましたが、1Fの店内施設の清掃や、2F・3Fの共有施設内の清掃を、毎日とても丁寧に、綺麗に行っていて下さり、お客様からのお声を届けて下さったり、お客様目線でちよっとしたアドバイスを下さったり、日々とても助かっております。特に、挨拶や気遣いが素晴らしく、「私たちも負けていけない」と思うほどです。今では、コープかすかべテラスに欠かす事のできない存在として強いパートナーシップを感じております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

株式会社コープワーキングサポート



事業第二課 松本 英利様
まつもと ひでとし

わたしたち株式会社コープワーキングサポートは、コープデリ生活協同組合連合会のグループ会社として、多くのお取引様のご協力・ご尽力をいただきながら、グループ内の各事業所・施設での衛生関連業務等を行っています。新日本ビルサービス様には、コープデリ連合会(さいたま市南区)の新本部棟の定期清掃業務とコープデリ商品検査センター(さいたま市北区)の日常清掃業務を行っていただいておりますが、このたび、グループの生協のひとつである生活協同組合コープみらいで新規開店しましたコープかすかべ東店でも、日常・定期清掃をお願いさせていただくことになりました。新日本ビルサービス様には、初めての店舗での清掃作業のお願いとなります。

開店初日に御社の清掃員の皆さまにお会いしましたが、どの方もテキパキと作業に取り組む姿を拝見し、このお店の清掃業務を御社にお任せして本当に良かったと思えました。

同店舗の職員からも、「新日本ビルサービス様には、店舗の隅々まで行き届いた清掃をさせていただいております」と、大変、満足しているとの声が弊社にも届いております。

今後とも、弊社を含むコープデリグループの良きビジネスパートナーとして、様々な業務でのお力添えをいただけますよう、どうぞよろしくお願い致します。



階段清掃中。



洗面台の水はねもしっかり拭き上げます。



皆で協力して館内をピカピカにします！
左：柴田真由美さん
右：笹本勝美さん



オープンをレモニーの様子。横川店長のスピーチです！



オープンと同時に多くのお客様にご来店いただきました。

温かく誠実なチーム医療を通じて 地域生活者の健康ベストパートナーへ!

医療法人社団 厚済会 会長 花岡加那子様

1 生い立ちと転機

— 花岡会長の生い立ち、学生時代のエピソード、大きく影響を受けたことや転機となったことをお聴かせください。 —

私は生まれも育ちも横浜で、親戚一同が医師という医療家系に育ちました。特に祖父には大変可愛がってもらい、おじいちゃん子で、物心ついた3歳の頃には、将来は医師以外の職業を考えたことが無いような子供でした。祖父は四国の愛媛県新居浜市で開業してお



▲原動力は医師であった祖父。

り、夏休みなどに遊びに行くのと、常に患者さんのために駆け回っている姿が周近で見えていました。敷地内に診療所があり、患者さんに呼ばればすぐに駆けつける、その姿が私にとって「働く」ということの原因風景でした。

祖父は自分の体調が優れない中でも、患者さんのために尽力していました。私が6歳になったまさにその誕生日に、祖父は亡くなったのですが、おじいちゃん子だった私にとって、それは非常に衝撃的な出来事であると同時に、祖父からバトンを渡されたような感覚を鮮明に覚えています。この経験が、医師を目指すという思いを一層強くしたのだと思います。

父もまた、仕事一筋の人間で、小学生の頃、夜11時頃に終わる塾の帰りに父のクリニックへ寄り、一緒に車で帰宅するのが唯一会える時間でした。家族旅行の記憶もなく、高校生になってようやく一緒に夕食をしたくらいです。でも、それが当たり前の日常でした。

一方で、両親は四国の出身ということもあり、「女の子は仕事をするものではなく、一歩下がって家庭を守るものだ」という考えが非常に強い家庭でした。成長するにつれて、独立心が強く好奇心旺盛だった私はその考えに反発し、「自分で稼いで家を出て独立するしかない」と考えるようになりまし

た。両親に内緒でアルバイトに明け暮れ、家出をしては搜索されるような心配ばかりかける子供だったと思います。

中学からは私立の女子校に通いましたが、男子と殴り合いをするような活発な性格だったため、女子だけの環境は性に合わず、鬱憤が溜まる一方でした。高校時代も、海外留学の夢を「女の子だから危ない」と反対され、「ならば自力でお金を貯めて行こう」と決意していました。とにかく、意義のある生き方を見出したいと強く思っていました。

2 厚済会入職の経緯と当時の経営状況について

— お父上が設立された厚済会に入られた経緯と、入職された当時の経営状況について、多くの反発があっても逃げずに真正面から伝え続けた強い信念はどこから生み出されたのかをお聴かせください。 —

医師になること以外考えられなかったものの、看護大学や社会福祉の道も経験しましたが、どれもしっくりきませんでした。この家には自分のやりたいことは実現できないと考え、両親の目の届かない遠い場所へ行こうと、静岡県浜松市の大学へ進学しました。大学卒業後、教授の推薦で伊豆にある某大学大病院の地域連携室立ち上げに携わる話があり、そこでお金を貯めようと考えるようになりました。

ところがその矢先、またしても私の誕生日に、今度は父が心肺停止で倒れました。その時まで、親不孝を重ね、一刻も早くこの家から解放されたいとさえ思っていたのですが、祖父の死を彷彿とさせる出来事に、やはり家族が一番大事なのだと感じました。幸い父は一命を取り留め、回復してきた頃、「一年だけでいいから、そばにいて一緒に働いてほしい」と頼まれました。やはり心配でもありましたし、そばにいたいという気持ちもあり、その言葉を受け入れて厚済会に入職することを決意しました。

そうした経緯で入職したものの、父が私に期待していたのは、後継者としての働きではありませんでした。そのため、入職から10年ほどはずっと平社員のみで、最初の配属は外来の看護師でした。周りから見れば、跡を継ぐ

わけでもないのに、何かと口を出して
くる厄介な存在だったと思います。

しかし、組織が大きくなる中でその
理念は薄れ、医療安全が自分たちを守
る言い訳に変化している態度や姿勢が
目に余りました。患者さんからのク
レームに対し、「うるさい患者だ」と
捉える職員も少なくなりました。

ただの一職員が「何を考えているの
ですか」と意見しても、それは批判と
しか受け取られません。そこです、
患者さんのことを少しでも理解して
らおうと、入職後すぐに「地域連携室」
を勝手に立ち上げました。今思えば生
意気な若者でしたが、患者さんのご自
宅や介護施設などを訪問し、その生活
環境を見ることで、医療者としての本
来の優しい気持ちを出せるのでは
ないかと考えたのです。

時間を見つけては様々な部署を回り、
「あそこはこうなっているんだ」と見
て回る私は、相当煙たい存在だったで
しょう。患者さんからのクレーム対応
も「やるならお前がやれ」と全て私に
回ってきましたが、それを一つひとつ
対応し、患者さんの声をスタッフと共
有していくうちに、次第に「この子は
少し使えるかもしれない」と、スタッ
フ側からの要望も寄せられるように
なっていました。



▲花岡会長を支える、鎮目事務長(中央)、貝澤部長(左)

しかし、組織全体の改革は困難を極
めました。院長たちに改善を訴えても
「現場も知らないくせに口を出すな」
と門前払いです。父に相談しても「お
前にそんなことは望んでいない。みん
な頑張っているのだから首を突っ込む
な」と突き放される始末でした。

経営を学んだこともなく、ただ理想
を叫ぶだけだった自分は、今思えば未
熟だったと反省しています。既存の組
織を変えることの難しさを痛感し、そ
れならば「コンセプトを明確にした新
しい病院を一から立ち上げれば、理想
の医療を実現できるのではないか」と
考えるようになりました。折しも15年
ほど前、横浜市で病床整備の計画があ
り、私は独断で病院立ち上げに向けて
動き始めました。

当然、院長たちからは大反対されま
したが、6年もの歳月をかけて説得を
続け、最後は「これが実現できないの
なら、ここに未来はないので辞めさせ
ていただきます」と半ば脅すような形
で、ようやく了承を得て、現在の横浜
じんせい病院を立ち上げるに至ったの
です。

この間、組織の作り方や経営につい
て学ぶ必要性を痛感し、ビジネスス
クールに通い始めました。そこで出
会ったのが、「経営品質」の考え方で
2005年日本経営品質賞を受賞され
た望月広愛教授より顧客価値経営につ
いて学び、この考え方を自組織に導入す
れば組織改革に繋がると直感しました。

2017年から、各部署の責任者を
集め、研修という名目で毎月1回、対
話の場を設けました。「素晴らしい組
織とは何か」「自分が患者ならどんな
病院に行きたいか」といったテーマで
議論を重ねるうち、皆の視点が徐々に

患者さん、つまり顧客の視点へと変
わっていったのです。いくら指導的に
「こうすべきだ」と言っても、人の心
には響きません。自分たちで考え、対
話し、心から「そうしたい」と腹落ち
して初めて、組織は変わっていくのだ
と、数々の失敗を通じて学びました。

なぜそこまで信念を貫けたのかと問
われれば、やはり祖父や父の存在が大



▲花岡会長が厚済会に入職されてから17年間の歴史に聴き入ります。
(左から関根取締役、関根社長、中山支店長、山下主任)

きいのです。彼らが患者さんへ真摯に向
き合う姿を間近で見て育ち、人のため
に尽くすことの尊さを肌で感じてきま
した。それが、自分にとつての「生き
る道」であり、「生きた証」なのだと思っ
ています。「ただ何となく生きて死ぬ
のは絶対に嫌だ」「世の中や人の役に
立って死にたい」という思いが、常に
心の中心にありました。

また、医師になることを反対され続
けたことで、「医療はこうあるべきだ」
という理想像や渴望が、人一倍強く
なっていたのかもしれない。その強
烈な「あるべき論」が、様々な圧力に
屈しない原動力になっていたのだと思
います。経営品質を学びながら、最近
ようやく、「あるべき」ではなく私達が
ありたいと願う想いを語り合い育むこ



▲仕事に対して誠実に真摯に向き合う尊さが生きた証。

とが一番大切であると実感しています。

3 厚済会が提供する価値と強み

— 2023年度日本経営品質賞推進賞で評価された3つの顧客価値提供についてお聴かせください。—

2023年度の日本経営品質賞で評価された3つの価値について、これらは経営品質活動の中で磨かれたものもあれば、元々取り組んでいたものもあります。

「チーム医療の推進」は、入職当初から最も意識してきたことです。職員同士がバラバラで、同じグループ内の施設で緊急事態が起きても誰も助けに行かないという現実には強い衝撃を受けました。職人集団である医療者は、それぞれが高い能力を持っていても、目的が共有されていなければ力は分散し

てしまいます。お互いの力を掛け合わせ、より大きな価値として患者さんにお届けするために、部署や施設の垣根を越えたコミュニケーションの機会を積極的に設けてきました。

「近隣医療機関とのネットワーク」は、もともと横浜市立大学出身の父が築いた人脈が土台にあります。それに甘んじることなく、私自身が師長たちを連れて挨拶回りを重ね、顔の見える関係を地道に構築してきました。大学病院の先生方が研究を行う際には、症例データを提供するなど、お互いがWin-Winになる関係づくりを心がけています。緊急時に患者さんを助けていただくからこそ、平時から私たちが貢献できることを続ける。その積み重ねが、現在の強固な連携につながっています。

「地域密着型の施設運営」という点では「あおぞら会(患者会)」での取り組みも、長年の継続の賜物です。17年前は、会合がまるで「恐喝(おびやか)場」のようになつてしまうほど、患者さんと医療者の関係は良好ではありませんでした。しかし、当時の患者会の会長さんとも真摯に話し合いを重ね、「患者さん自身も透析しながら元気に生きる努力をすること」「お互いにできることとできないこと」を共有し、共に「病気があってもいきいき生きる」を目指すパートナーとしての関係を築いてき

ました。今では、バス旅行で一緒にいちご狩りに行ったり、温泉旅行に出かけたりのまでになっています。こうした場でこそ、アンケートでは決して得られない、宝物のような患者さんの本音を聞くことができるのです。

4 花岡会長を支える経営チーム

— 花岡会長を支えるチームをどのように創り上げてこられたのか、経営品質活動とどのように繋がっているかをお聴かせください。—

特定の「経営チーム」という区切りはありません。本日同席している鎮目事務長や貝澤部長をはじめ、多くの職員が「ぶつすればもつと良くなるか」を常に考え、行動してくれています。

その土台となるのは、やはり2017年より取り組んできた顧客価値経営の考えですが、2023年より更にそれを実践できるチームとなるために、人財共育に投資し組織開発を進めています。具体的には「システムコーチング」や「リーダーシップ開発」を導入し、現在管理職層を中心に約60名がこのトレーニングを受けています。一人ひとりにコーチがつき、チームとは何か、自分自身がチームにどう影響を与えるかといった「チーム力学」を学んでいます。研修では、協力しなければ



▲横浜支店のフレッシュなメンバーも花岡会長から多くを学びました。(左から齋藤、笹崎)

達成できない課題などを通して、成功や失敗を擬似的に体験します。なぜこのチームは失敗したのかを深く振り返ることで、目標へのコミットメントの重要性などを、知識としてはなく「体感」として腹落ちさせていくのです。教えるというよりは、頭と体をフル稼働して、体験から発見したものと理論をつなぎ合わせることでチームと個のそれぞれの成長を促進させたいと思っています。こうした実践的な研修を通して、苦しい経験や痛い思いをしながらも、皆がリーダーとして成長してくれていることが、組織の大きな力になっています。

5 新日本ビルサービスの評価と期待

新日本ビルサービス様とのご縁は、

2023年の経営品質賞の会食で同じテーブルになったことがきっかけでした。その時から社長の志に惹かれ、「ぜひうちの清掃に入ってもらえないか」と願っていましたので、念願が叶い、大変感謝しております。

以前は、院内の床を雑巾がけすると真っ黒になるほどで、清掃が行き届いていないと言えない状態でした。しかし、貴社に入っていたからには、床は輝き、院内は清々しい空気に満たされています。「これこそがありがたい姿だ」と、その爽快感に感動しました。清潔な環境は感染対策の基本であり、いくら言葉で説明しても分からなかった職員が、美しくなった空間を目の当たりにして「会長が言っていたのはこういうことだったんですね」と理解してくれたのです。これも、環境が人を変えるという実体験でした。

さらに素晴らしいのは、誰が作業をしても同じ品質が保たれる「仕組み」です。以前は「この人たちには難しいのではないか」とさえ思っていた清掃業務が、これほどまでに見違えるとは正直驚きました。運用体制の構築から実装まで、横浜支店の皆様が本当に親身になってご提案くださり、今では来院される方々から「きれいな病院ですね」とお褒めの言葉をいただくことが増えました。貴社の卓越した仕事ぶり

には、学ぶべき点が本当に多いと感じています。これからも、お互いに切磋琢磨し、高め合える関係でいられることを期待しております。

6 仕事と人生で大切にしていること

現代の医療業界は非常に厳しい状況にあり、日本の医療が持つ、真面目で、丁寧で、一途といった素晴らしい資質が失われかねない環境にあると感じています。私の人生のテーマは、その日本人の素晴らしい資質を守り、慈しみ育てていくことです。

溢れる情報の中で、本来の人生の意味を見失いがちな現代だからこそ、せめて私たちの小さな医療法人からでも関わる人々にとって何が大切なかを伝えていきたい。真摯に、誠実に、謙虚に患者さんを想い、患者さんからも信頼と感謝をいただく。その関係性が、自分たちの幸せや人生の彩りにつながるのだということを、守り広げていきたいと考えています。

私は後継者という立場ではないからこそ、この考え方が属人的なものではなく、仕組みや文化として組織に根付き、継続していくことが何よりも重要です。スタッフ一人ひとりが人生の意味を謳歌し、意義ある人生を送れる環境を整えること。それが私の責務であ

り、人生の意味だと考えています。

7 厚済会の夢とビジョン

現在、近隣の老舗があった場所を買い取り、地域の皆様が気軽に立ち寄れる新しい医療施設の開設を計画しています。目指すのは、ただのクリニックではなく、訪れるだけで日頃の疲れが癒やされ、自分の体をいたわりたいと思えるような「ヘルスパワースポット」です。2027年4月のオープンを予定しており、庭でお茶が飲めるような、心休まる空間にしたとと考えています。

10年、20年先を見据えたビジョンとしては、まず、現在通院されている透析や慢性疾患の方達が、365日24時間、生涯にわたって安心して過ごせる体制を盤石に守り抜いていきます。

その上で、今後は「予防医療」にさらに力を入れていきます。これまで培ってきた地域連携の強みを活かし、横浜市や

神奈川県、さらには他企業とも連携して健康データを解析し、病気になる前の段階から介入していく取り組みを進めています。日本の医療費高騰の抑制にも貢献できると考えています。

また、治験なども積極的に受け入れ、新たな治療法の開発にも貢献できるような、社会に開かれた医療機関を目指すしていきたいと考えています。これまでに以上に地域の皆様の「人生のベストパートナー」となれるよう、これからも挑戦を続けてまいります。



▲これからも、お互いに切磋琢磨し高めあえる関係でいられることを期待しています。新日本ビルサービスをよろしくお願いいたします。生涯青春!!



株式会社 第一ビルメンテナンス

第17回 技術オリンピック

2025年6月27日(金)

技能オリンピックとは、第一ビルメンテナンス様の定期清掃班の技能を競う年に1度の大会です。大会の目的は日本一の清掃技能を持つ集団を目指した技能水準の向上にあり、私たちSNBの大きな目標となっています。



▲選手宣誓!!

▼集中します!!



▼基本となるポリッシャー洗浄。



◀隔々までスピーディに拭き上げます。



▶審査員の皆さんの真剣な眼差し。



▲三浦社長から優勝トロフィーを受け取る本多さん。

技術本部 定期メンテナンス部 部長 中村 聡



今期で17回目となる技能オリンピックを見学させていただきました。

24名が参加しての大会となる中、今回は午後の部の12名の演技を拝見。

この12名は経験年数、性別など様々な点が異なるが、拝見させていただいた感想として、どの演技も素晴らしく素直にかっこいいと思えるものでした。

個々が目標を高く持ち、仕事にやりがいを持っている事が分かり、同僚をライバルとして切磋琢磨し日々の業務、この大会に向け練習を重ねた集大成を出し切る様に感銘を受けました。

また表彰式にて敢闘賞を受賞した技能実習生の涙ながらのコメントは、日々の努力と想いが入り交じっていました。その他、参加者の立ち振る舞いや姿勢にも感動。

これらの環境下で鍛えた高い技術と想いがサービスの質に直結しているのだろうと思います。

信念を持ち継続していく事の一つとして、今回のベンチマークを見て得たもの、肌で感じた事を新日本ビルサービスの中にどう落とし込み活かしていくか、真剣に考えていきたいと思いました。

技術本部

定期メンテナンス課 主任 池田 巧

初めて技能オリンピックを拝見させていただきましたが、一言でいうと意識レベルの違いに圧倒された。競技を競い合う姿の技術職メンバー、それをサポートするメンバーもSNBにはない姿であった。

また、第一ビルメンテナンス様では圧倒的な数の技術職を採用しており、直営部隊を最大限に生かす背景には新卒採用にあると改めて感じた。SNBでも直営部隊を生かすためには採用強化、教育といった部分が課題を解決していかななくてはならない。

技術本部

定期メンテナンス課 片柳 歩生

第一ビルメンテナンス様で技能オリンピックの様子を見学させていただきました。

除塵・ポリッシャー・パキューム・モップ・ワックスという内容だったが、その他にも洗浄道具と床の拭きあげや指差し確認などもしており、それらを15分ほどで終わらせていました。

スピードも速く、皆さんがかなり練習を重ねてきたんだと実感すると共に、多くの事を学ぶ機会となりました。

東京業務部

第一課 伊東 悠亮

第一ビルメンテナンス様の技能オリンピックを見学させていただきました。

清掃作業というよりもまさに「競技」であり、出場されている方々の熱量に圧倒されました。若い社員の方々が多数参加されている行事であり、会社全体で「人を育てる」「技術を継承する」という意識が根付いているのだと感じ、非常に勉強になりました。

▼勢揃いした選手の皆さんの凛とした素晴らしい整列。



▲入賞者の皆さん
おめでとうございます!!

技能オリンピック参加の皆さんと生涯青春!!



東京業務部 第一課 山崎 実久

第一ビルメンテナンス様の技能オリンピックを見学させていただきました。実際に自分の目で見た技能オリンピックは想像をはるかに超える技術力でした。

とにかく速いのに、仕事が丁寧で隅から隅まで手が行き届いていました。オリンピックでは技術と演技で得点を付けておりましたが、ひとつのダンス・表現をみているような時間でした。特に私は同じ女性の方がどのような動き方をするのか注目していたのですが、道具の重さを感じさせない男性に引けを取らない動きをされていて感動しました。

東京業務部 第一課 狩野 メリー

第一ビルメンテナンス様の技能オリンピックを見学させていただきました。また一つ素晴らしい学びの機会となりました。このような会社の取り組みやイベントを通じて、参加者のスキルや自信を高めるだけでなく、「顧客満足」や「感謝」といった企業の価値観がしっかりと感じられました。何度も参加経験のある方々が、なおも評価を受け、さらなる向上を目指す姿勢は非常に感動的で刺激的でした。スキルや能力の向上は一度きりの場で完結するものではなく、継続性と向上心の大切さがこのイベントを通じて強く伝わってきました。このような場に観客として参加できたことに、心から感謝いたします。

東京業務部

第二課 狩野 ミスィ

株式会社第一ビルメンテナンス様主催の第17回技能オリンピック大会に参加させていただきました。

当日は午後からの参加でしたので、競技の半分程度しか拝見することができませんでしたが、このような技能競技大会を見学するのは初めてで、出場選手の皆様が作業工程を体系的かつ効率的に実行される様子に深く感銘を受けました。



DX推進部通信

～持続可能なビルメンテナンスを切り拓く～

取締役 DX推進部 部長 関根 陽太郎



2022年に始まった清掃ロボット事業は、現在60現場・300台近くが稼働しています。社内物件だけでなく、当社で清掃管理を行わない施設へのロボット派遣も増え、外部現場での活躍が広がっています。

取り扱う機種は中型から小型まで幅広く、床材や時間帯に応じた最適提案で稼働効率を最大化。一部メーカーとは連携範囲が広がり、非常に細やかな設定が可能となったことで安定稼働率は90%を超え、日常的な戦力へと進化しました。

また、横浜支店をはじめ他部門と連携し、直接マッピングの機会を創出。DX推進の業務理解と知識の波及で、導入後の定着率と操作スキル向上を実現しています。「ロボットを動かす」から「ロボットで価値を生み出す」へー DX推進部はこれからも進化を止めません。

清掃ロボット派遣サービスとは?!



お客様の施設環境や床材、清掃計画に合わせて最適なロボットを選定し、ご提供するサービスです。ロボット本体の提供に加え、消耗品の定期配送、万が一の故障時の対応、そして常に安定した運転を維持するための遠隔監視サポートを行います。これらを組み合わせることで、清掃業務の効率化と現場担当者様の負担軽減を実現。“おまかせ型”清掃ロボット派遣サービスとして、安心してご利用いただける体制を整えています。

多くの施設でご導入いただいております!

区分	台数
医療福祉施設	105
スタジアム関連	56
オフィス関連	51
商業施設関連	28
学校施設関連	26
工場施設関連	8
スーパーマーケット関連	7
ホテル関連	3
住宅・マンション関連	1
総計	285

他社サービス（売りっぱなし）

どの機種にすれば？
効果的な運用は？

早朝深夜の運転確認は？
事故が不安…
不具合対応は？
現場へのサポートは？

消耗品は？
定期メンテナンスは？
マッピング更新で
費用が掛かる？



導入後のロボット運用で
担当者の負担は増加...

SNBロボット派遣（伴走型）

「導入前」の
運用設計サポート
機種選定/PoC支援
配属・運用設計

「導入後」の
伴走型サポート

消耗品、保守サポート
みまもりサポート、定期報告



ロボット運用をアウトソースして
本来業務に専念

ロボット派遣で活躍する主な清掃ロボットのご紹介



【Jinny20】

業務用小型機。小さいながらも広範囲を清掃可能。



【Phantas】

バランス抜群の万能選手。営業中でも安定して稼働します。



【UFO CLEANER】

ローラーモップによりしっかり洗浄と拭き取りが可能。



【J40】

大きな機体と給排水ドックにより圧倒的な清掃効率を誇ります！



DX推進部 担当部長 岡村 将志

2022年に始まった清掃ロボット事業は、当初2名・1台から現在8名体制、300台超へと拡大しました。社内運用に加え、他の清掃会社や施設管理会社からの派遣依頼も増え、業界全体のニーズ上昇を実感しています。人手不足や最低賃金上昇といった社会背景から、清掃ロボットを含むサービスロボット導入は今後さらに加速する見込みです。エレベーター連携や営業時間中の稼働、運搬ロボット活用など、役割は「清掃」を超えて広がっていきます。私たちも多様なサービスロボットの運用・サポート体制を整え、時代にふさわしい価値を提供していきます。



横浜支店 支店長 中山 耀太

横浜支店として清掃ロボットを中心にDX推進部と連携し取り組んでいます。メンバーがそれぞれ清掃ロボットのマッピングを経験し、既存・新規現場へ導入を行ってきました。清掃業務の効率化を考え作業設計をすることで、人は人のやるべき仕事に集中することができるのがわかり、結果として人が提供するサービスの価値を高めることができます。今後ますます価値を高めることが必要になってくると実感しています。



DX推進部 高橋 圭佑

ロボットのスイッチを入れるだけで決められた任務を完遂するにはまだ技術が不足しており、遠隔にて正しく動いているかを日々確認、必要に応じて補助をする「みまもりサポート」の業務を主として行なっています。他社にはない独自の伴走型システムとして確立できていると考えています。全てのロボットで1日約3万㎡(東京ドームのグラウンド部分程度)を「私が」清掃している、と置き換えることが一番のモチベーションです！



Sky Walker 7058 オープン!!



Sky Walker 7058(スカイウォーカーナナゼロゴーハチ)



ユニクス南古谷

UNICUS

支配人 根岸 正樹



埼玉県川越市の東部に位置する、地域密着型商業施設ユニクス南古谷内に、2025年7月12日埼玉県内最大級の屋内型アスレチック施設「Sky Walker 7058」がオープンしました。

ユニクス1号店として開業したユニクス南古谷は、3つのエリア構成となっており、衣食住遊が揃う地域に根付いて20年を経過した施設です。



◀
「Sky Trail」
高さ11mの不安定な足場はスリル満点！
感じたことのない高さで、手に汗握るロープアトラクションです!!



◀
「Clip'n Climb」
高さ8mの様々なクライミングウォール！
クライミング未経験者でも、ハーネスを装着し、安全ロープをつけて挑戦！



◀
「Sky Tykes」
専任のスタッフが常駐しているから、お子さまひとりでも楽しめます！



「Sky Walker 7058」は、映画館、ボウリング場がある敷地内に、単独建屋として建設されました。施設内には、地上11メートル(ビルの3階～4階)の高さを誇る施設のシンボルとしてそびえ立つ「Sky Trail」、高さ8メートルの壁にユニークな形状のホールドが取り付けられているクライミングウォール「Clip'n Climb」身長122cm未満のお子様を対象としている「Sky Tykes」からなる3カ所の専用エリアで構成されています。「いつもの今日が、アドベンチャー！」をテーマに、小さいお子様から大人まで日常を忘れさせてくれるスリルと興奮を体験できます。

わたくしども、新日本ビルサービスは、今年3月にユニクス南古谷様の管理運営を任せていただく機会をいただきました。ご来館頂く全ての方が安心、安全にすごせ、快適な環境を提供できるよう運営管理に尽力してまいります。お近くにお越しの際は、皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

株式会社ピーアンドディコンサルティング 開発事業本部 取締役 山本 喬様

平素はユニクス南古谷の施設運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2003年の開業より20年超が経過、社会情勢やライフスタイルは大きく変化し商業施設は画一的なものから多種多様な役割が求められる時代になりました。とりわけ近年の気候変動がもたらす環境変化は大きく、この度開業したSky Walker 7058は安全安心に遊べる施設として全天候対応型とし、また、近隣競合店にはないオンリーワンの機能がユニクス南古谷に新たな顧客と付加価値をもたらすことを期待しています。

7月12日の開業以降、多くのお客様にお越しいただき順調なスタートを切ることができました。当施設は同敷地内で営業中のタリーズコーヒー、ローソン・ユナイテッドシネマ、ユニクスボウルと同様に当社直営事業であり、今後はこれら店舗との連携・相乗効果によりユニクス南古谷がより一層の発展を遂げるよう努めてまいります。

Business College 2025 講演

2025年8月22日(金)

管理本部 部長 古川 幸治



四国へ赴き、四電ビジネス株式会社様の幹部研修(Business College 2025)にて講演の機会をいただきました。同社は、ビルメンテナンスや不動産事業等を展開する四国電力グループの中核企業です。「実際の生きた経営の事例研究として」とのご依頼をいただき、講演が実現しました。

研修には9名の幹部の皆様のほか、総務部の方にもご参加いただき、終始熱心に耳を傾けてくださいました。事前に、また当日にも多くのご質問をいただき、その活発な質疑応答を通じて、私たち自身も自社の経営品質の取り組みを改めて見つめ直す、大変貴重な機会となりました。

この度の素晴らしいご縁に心から感謝申し上げます！



四電ビジネス株式会社 総務部 総務課長 森長 剛 様

会社立ち上げの経緯から各種業務における社内での方針決定や社員と経営層の近い関係性など多岐にわたって講演いただき、時間が過ぎるのが早く感じられた講義内容でした。

関根社長は71歳という年齢にも関わらず活力がみなぎっており、周りの人を寄せ付ける人間力の高い経営者といった感じで、地元の地域創成を考えた再開発事業への参画も経営決定されるなど、立ち止まることなく会社人生を送られていることに大変感銘を受けました。



四電ビジネス株式会社 ビジネスソリューション本部 事業統括課 課長 岩崎 建 様

関根社長の講演を間近で見て、熱意と素晴らしいビジョンがあり、数々の挑戦から刺激と感銘を受けました。

動画で見た社員とさわやか社員が生き生きと働く姿から、新日本ビルサービス様では「技術力向上への取組」、「顧客の要望を断らない文化」、「挑戦を応援する風土」が醸成しており、社会の流れを見据えて成長を続けられる会社だと確信しました。

この場で得た学びを、自社の事業戦略と組織風土の醸成に活かせればと思います。

▼関根社長の“生涯青春”を四国にも届けます。Business College 2025受講者の皆さまと!!



▲関根社長講演の様子。

〜さらに夢を追いかけて 未来を拓く〜

全体会議ご講話 令和7年4月16日(水)

弁護士法人梅ヶ枝中央法律事務所 代表 山田庸男様

生い立ち

私は昭和18年、戦時中に生まれ、父は私が1歳になる前に南方の輸送船で戦死しました。そのため、父の顔を知りません。母は当時不治の病とされた肺結核を患い、入院を繰り返す生活でした。当然、家計は苦しく、私は小学校4年生から新聞配達をして家計を助けました。しかし、当時は誰もが貧しい時代でしたから、特に肩身の狭い思いをした記憶はありません。

その母が口癖のように私に言い聞かせた三つの言葉があります。一つ目は「貧しいとは恥ではない」、二つ目は「心の貧乏はするな」、三つ目は「人へ後ろ指をさされることをするな」。この言葉が、私の生き方の根幹を成しているように思います。私は長屋で育ち、近所の人々に助けられながら生きてきました。中学や高校の先生、大学時代に働いていた会社の上司など、多くの方々の理解と支援があったからこそ、

弁護士になることができたのです。こうした経験から、私は社会的に弱い立場の人々の味方になりたいという思いで弁護士の道を歩み始めました。人間は皆、裸で生まれ、最後は骨となつて土に還ります。「本来無一物」という言葉の通り、この世で得たものをいかに社会に還元するかが重要だと考え、60歳を過ぎた頃から具体的な行動を起こすことを決意したのです。

人生における失敗と「生かされている」という実感

人生がそうであるように、事業もまた平坦な道ばかりではありません。クレームや事故、時には企業の信用を揺るがす不祥事も起こり得ます。

しかし、私が重要だと考えるのは、失敗を恐れないことです。何もしないでその場に留まるより、挑戦して失敗する方がはるかに価値があります。ここで「反省しても後悔はしない」という言葉についてお話ししたいと思います。

人生において失敗はつきものです。その後の向き合い方には「反省」と「後悔」の二通りがあります。後悔とは、努力不足が原因の失敗に対して「もっと頑張ればよかった」と嘆くだけで、次への教訓となりません。一方、反省とは、たとえ精一杯努力しても結

果が伴わなかった際に、その原因を突き止め、次の挑戦への糧とする建設的な行為です。私自身、これまでの人生で後悔したことは一度もありませんが、反省することはしばしばあります。それは次への糧となるからです。

私は60代になるまで、裸一貫でやってきたという自負から、成功も失敗もすべて自分の力と責任によるものだと考えていました。今思えば、それは大変な傲慢であったと気づかされます。

ある時、自分の成功は決して自分一人の力ではなく、目に見えない多くの人々の助けがあつてこそ成り立っているのだと悟りました。その瞬間から、自分は「生きている」のではなく「生かされている」のだと心から実感するようになり、残りの人生を社会のため、どう使うべきかを考えるようになりました。それが、「きずな育英基金」設立の直接的な動機となりました。

格差社会への挑戦としての「きずな育英基金」

私が代表を務める梅ヶ枝中央法律事務所は、1973年に12坪の小さな事務所から始まりました。幸いにも多くの方々に支えられ、現在は弁護士37名を擁する組織となり、東京と京都にも事務所を構えています。事務所が大き

山田庸男先生プロフィール



昭和37年 市立天王寺商業高等学校卒業
昭和42年 関西大学法学部卒業 司法試験合格
昭和45年 弁護士名簿登録
昭和48年 山田法律事務所設立(梅ヶ枝中央法律事務所)
平成6年 大阪弁護士会副会長
平成8年 日本弁護士連合会民事介入暴力対策委員会委員長
平成9年 なみはや銀行金融整理管財人
平成19年 大阪弁護士会会長(日本弁護士連合会副会長)
平成20年 日本CSR普及協会近畿支部支部長
平成25年 一般財団法人梅ヶ枝中央きずな基金設立

くなるにつれ、企業法務なども手掛けるようになりましたが、私の心情の根底にあるのは、依頼者に寄り添う「依頼者ファースト」の精神です。

そして、その精神を社会貢献活動として具現化したのが「きずな育英基金」です。この基金を設立して12年になりますが、今日まで活動が順調に続いているのは、深刻化する社会のニーズ、すなわち「格差」の問題に応えるものだったからだと考えています。

資本主義社会において、競争の結果として差がつくこと自体は避けられないかもしれませんが、問題なのは、スターラインが不平等であることです。経済的な格差が教育の機会を格差を生み、それが次世代にまで連鎖し、固定化されています。私は、誰もが同じスターラインに立てる機会の平等を確保しない限り、真に公正な競争はあり得ないと考えています。

日本における貧困は、絶対的貧困ではなく「相対的貧困」として現れます。これは、国民の平均所得の半分以下で暮らす人々の割合を指し、全体では6人に1人、ひとり親家庭に至っては2人に1人がこの状況にあります。多くの子どもたちが、経済的な理由で夢を諦めざるを得ない状況に置かれているのです。

才能を開花させるための支援

きずな育英基金は、単なる経済的支援を目的とした奨学金制度とは一線を画しています。私たちの目的は、経済的な困難の中で埋もれがちな子どもたちの潜在能力を引き出し、その才能を開花させる後押しをすることです。

選考にあたっては、学校の成績が優秀であることや、文化・芸術・スポーツの分野で優れた実績を持つことを基準としています。これは、支援を受けた子どもたちが、将来それぞれの分野で社会を牽引するリーダーとして活躍してほしいという強い願いを込めて「奨学」ではなく「育英」という言葉を使っている理由でもあります。

基金は設立にあたって投じた私財に加え、この活動の趣旨に賛同してくださる方々からのご寄付や、遺贈によって支えられています。中には、全く面識のない札幌の老婦人が、遺産の一部を当基金に寄付してくださったという事例もありました。使い道が明確で、弁護士が運営しているという信頼性が、こうした支援の輪を広げているのだと思います。

支援の好循環と未来への展望

きずな育英基金から巣立っていった

子どもたちは、私たちの期待に応え、それぞれの道で素晴らしい成長を遂げてくれています。毎年、大学に進学する卒業生の多くが、国公立大学や難関私立大学へと進んでいます。大阪大学の薬学部から大手漢方薬メーカーに就職した者、慶應大学や東京音楽大学へ進んだ者、神戸大学から京都大学大学院へ進み、今はコンサルティング会社で活躍する女性もいます。現在、医学部に在籍している学生も6名おり、数年後には医師として社会に貢献してくれることでしょう。

私がこの活動を通して最も喜ばしく感じているのは、支援を受けた子どもたちが、今度は自らが支援する側に回ろうとしてくれていることです。大学生になった卒業生がイベントを手伝い、後輩の相談に乗る。この「支援の好循環」が生まれつつあります。このサイクルが確立されれば、私がこの世を去った後も、この活動は永続していくのではないかと期待しています。

私は、事務所の理念として「努力をして成長はするけれども完成はない」という言葉を掲げています。これは企業活動も人生も同じで、これで終わりという頂点は存在しません。絶えず努力し、成長を続けることが大切です。子どもたちにはいつも「努力・感謝・奉仕」という三つの言葉を伝えていま

す。まずは自ら努力すること。そして、努力できる環境にあることに感謝すること。最後に、その恩を社会に返す「奉仕」の精神を忘れないでほしい、と。明治維新の時代、「財を残すは下、組織を残すは中、人を残すは上」という言葉があったそうです。財産を残すことよりも、次代を担う優れた人材を育てることが、私の責務であると信じています。きずな育英基金で育った子どもたちが、この国のために役立つリーダーとなってくれること、それが私の最後の夢です。



夢は追いかけ、掴むもの

成長はあっても完成はない

努力・感謝・奉仕の精神で

常識破りの非真面目な 異端児を目指せ！

ありがとう寺 住職 町田宗鳳様
知里様



町田宗鳳先生プロフィール

順天堂大学客員教授・広島大学名誉教授・御殿場高原「ありがとう寺」住職
1950年京都市生まれ。幼少のより、キリスト教会に通う時期もあったが、
14歳のより、家出をして仏門に入る。

以来20年間、京都の臨済宗大徳寺で修行。34歳のとき寺を離れ、渡米。
のちハーバード大学で神学修士号およびペンシルバニア大学で哲学博士号
を得る。

65歳で比叡山延暦寺で密教修行、天台宗大阿闍梨となる。

プリンストン大学助教授・国立シンガポール大学准教授・東京外国語大学
教授・広島大学大学院総合科学研究科教授・
国際教養大学客員教授・都留文科大学特任教授・ふじのくに地球環境史
ミュージアム客員教授・オスロ国際平和研究所客員研究員などを歴任。

研究分野は比較宗教学、比較文明論、生命倫理学。東京大学・名古屋大学・
東京医科歯科大学・国連大学・聖心女子大学などでも教えた。

外務省主催『文明間の対話セミナー』の常連メンバーとして、世界各地で
講演。

『人類は「宗教」に勝てるか』など日本語や英語の著書約50冊。

NHK『こころの時代』・『ラジオ深夜便』・『こころをよむ』など出演。

日経新聞・朝日新聞・読売新聞にもエッセイを連載。

日本・米国・ヨーロッパなどで倍音効果を利用した声の瞑想法「ありがとう
禅」を指導、また週末を利用した「ありがとう断食セミナー」を定期的
に開催。

現在は、「ありがとう寺」(無宗派)を拠点に、密教修法の「弘法護摩」を日々
実践している。

1 経歴と生き様の原動力

町田宗鳳先生の異色のご経歴と全
心全力の生き様を突き動かしている原
動力が何かをお聴かせください。――

私の生き様を突き動かす原動力は二
つのコンプレックスにあります。

一つ目は、身体的コンプレックスで
す。健康優良児として全国で表彰され
る兄とは対照的に、私は虚弱児に近い
ほど体が弱い子供でした。兄弟でもそ
こまで違ったんです。

その身体的な劣等感を克服するため、
中学2年生の時に禅寺に飛び込みまし
た。

禅の修行は、想像していた座禅中心
のものではなく、掃除や畑仕事、薪割
りなどの「作務」といった徹底的な肉
体労働の毎日でした。この厳しい環境
で体を張って20年(小僧7年、雲水13
年)を必死に生きた結果、どんどん元
気になって、心身ともに頑丈になり、
力比べで人に負けないくらい自信が
つきました。「頑張ればなんとかなる」
という自信を深めることができたん
です。

禅寺での生活は肉体的な厳しさ以上
に、閉鎖社会特有のいびつな人間関係
に苦しめられました。軍隊のような厳
しい上下関係の中で、いじめや暴力が

頻繁に起こるドロドロとした世界でし
たが、一度出家した手前、すこすこと
実家に帰るわけにはいかず、歯を食
しばって耐え抜きました。

二つ目のコンプレックスは知的コン
プレックスです。

私は京都市生まれで、小さい時から
少し勉強ができるからと、京都大学を
目指すことになりました。私の通って
いた高校も毎年30人くらいが京都大学
に進学していたんです。

ところが受験期には禅寺での修行に
没頭するあまり受験勉強が疎かになり、
折しも東大紛争で受験生が京大に集中
した年も重なって、不合格となってし
まいました。この知的なコンプレッ
クスが、後の米国留学への逆噴射の工
ネルギーとなりました。

私が修行した京都の大徳寺は、国宝
や重要文化財に囲まれた700年の歴史を
持つ伝統的な禅寺でした。そこでアー
トや建築に対する審美眼が養われる一
方、師匠が鈴木大拙(日本の仏教学者)
の学弟であったことから、常に国際的
な視点で禅を捉える観点が育ちました。
その頃ベトナム戦争があつて、寺には
政財界の第一線で活躍する欧米の著名
人や、良心的兵役拒否をしたヒッピー
のような米国人が多く座禅に訪れ、彼
らとの交流を通じて、自然と英語や国
際感覚が身につけていきました。日本



▲宗鳳先生の全人格からほとぼしるエネルギーに満ちたインタビュー。

人の友達よりもアメリカ人の友達が多かったことが、私のインターナショナルな感覚を育てたのでしようね。
34歳の時、京大大学院に客員教授として来ていたロビン・ハーツホーンという世界的に有名な数学者が尽力してくださったおかげで、ハーバード大学神学部の特選学生となります。高卒の学歴で大学院レベルの授業についていくのは困難を極めました。が、禅の修行で培った体力と根性、そして親切な学友たちの助けによってこれを乗り越え、神学修士号を取得します。

その後、ペンシルベニア大学の博士課程に進み哲学博士号を取得して宗教学、人類学、歴史学、心理学といった多様な学問分野を駆使して一つの事象を多角的に研究する、現在の学問スタイルを確立しました。

この手法を用いて、誰も手掛けていなかった視点から法然ほうねんに関する博士論文をわずか1年で書き上げ、博士号を取得しました。全てコンプレックスをバネにして、体力と根性だけで「何くそ」と思って頑張りましたが、禅の修行が役に立ちましたね。

2 混沌の世界を如何に生きるか

現代は、どの時代よりも多様な情報が溢れかえり、しかもどの情報も頭から信じられなく時代になっています。そのような「混沌の世界を如何に生きるか」、意思決定に迷った時や感情に流されそうになったときにぶれない軸として自分を律する信念、原理原則、穏やかな心を持つために如何に生きるかをお聴かせください。――

世界が混沌とすればするほど、自分の内面や穏やかさ、それを確保しなければなりません。

私も毎日護摩ごまを焚まいていて、弘法大師から「自分の足で大地に立て」とい

うメッセージを繰り返し受けています。予測不能な社会だからこそ、自分の主体性というものをしっかりと根付かせていくことが大切なのです。

しかし、それを理念として理解してもあまり意味がないので、自分自身できちんとした方法論を持たなければなりません。

それは人によって違います。スポーツを通じて自分の主体性を確認する人もいれば、瞑想をする人もいます。あるいは芸術活動で、自分が作品を作っているプロセスで、時間空間が消えるような体験をする人もいますし、もっと庶民的に畑を耕している時とか裁縫をしているときに、本当に満足した気持ちになる人もいますと思うのです。

これを現代の脳生理学では、スローアルファ波が出ていると言われています。7.8 Hzのスローアルファ波が出ている。あるいは幸福物質と言われている脳内ホルモンのオキシトシン、幸福物質と言われているオキシトシンが大量に放出されているというデータに基づいた科学的な結果もあるわけです。

西田哲学（西田幾多郎）：日本の哲学者)では、この状態を「絶対無の場所」を表現しますが、このような体験を日常的に持つことで、直観力や想像力が湧き、心の動揺も抑えることができま

す。

大都会での忙しい生活や人間関係のストレスの中で、情報の洪水に奔走させているし、人間関係のストレスというものはすごいものがあると思うのですが、だからこそ真ん中にぽっかり空いたような時間空間を自分で見つけるノウハウを確立しないといけません。みんな向き不向きがあるからマニュアルは無く、各自が模索し、実践を続ける中で見出していくものです。

週に一度、あるいは月に一度でも、手つかずの自然の中に一人で佇むといった体験は、下手な瞑想よりもはるかに深く心を静め、冷静さを取り戻させてくれます。普段、ビジネスの世界で前へ前へと進んでいるからこそ、時には全てをリセットし、自分を消していくような逆方向の動きが、揺るがない自分軸を築く上で極めて大事なのです。

3 経営者の役割、在り方について

100年続く会社は0.02%と言われており、ほとんどの会社は何らかの理由で倒産か廃業してしまいます。

会社は社長の器以上に成長しないと云われますが、心を高め、経営を高めるために、宗鳳先生のアドバイスをお願い致します。――

企業の永続のためには、利益を社会に還元するという利他の精神が根幹にあるべきです。短期的に「俺が、俺が」という我利の経営で利益を上げたとしても、長期的な発展は望めません。実際に永続している企業の多くは、利益の社会還元を第一に考え、社員一人ひとりのアイデアや個性を尊重し、人間を育てることを経営の主眼に置いています。売上目標を声高に叫ぶのではなく、社員が自発的に働く喜びを追求することで、結果的に業績が高まるのが理想の姿です。

そのためには、従来の学歴重視やトップダウン型の経営から脱却し、社員の個性や発想力を最大限に活かす日本型の経営に自信を持つべきです。特に重要となるのが「イマジンেশョン（想像力）」、中でもユング心理学でいう「アクティブ・イマジンেশョン（能動的想像力）」です。これは、単に無いものを想像するのではなくストーリーが勝手に展開していくように、想像が自己増殖していく力です。この力を持つリーダーや、その種を持つ若者、すなわち常識の枠に収まらない「異端児」こそが、停滞した状況を打破し、会社に新しい価値をもたらします。面白い会社、伸びる会社にするためには、そうした異端の力を持った人材を見極め、採用していくことが不可欠です。



▲宗鳳先生を支える奥様の知里さん、最高のコンビです!!

また、ビルメンテナンス業という事業は、人々が汚した場所をきれいにするという行為であり、社会を美しくするだけでなく、従業員一人ひとりが知らず知らずのうちに徳を積むことにも繋がる、非常に意義深い仕事です。個人のレベルで見ても、掃除はカルマ（業）を浄化する最良の方法の一つです。生活環境を物理的にきれいにすることは、人々の精神性を高める上で宗教以上の力を持つ可能性があります。企業の活動を通じて、地域社会、ひいて

は国土全体をきれいにしていけば、日本の民度が高まると思っています。

4 正直、親切、愉快に“生きる”

― 会社の多くの社員が「社長が感情的にならずニコニコと笑顔でいることが一番です」と求めています。

正しい生活目標の設定 正直、親切、愉快に“生きる”についてお考えをお聴かせください。 ―

「正直、親切、愉快」といった正しい生活目標を設定することは、素晴らしいことですし、それはそれで大事なことだと思えます。しかし、それが道徳律となり、金科玉条（きんかぎよく）じようじ守るべき法律や個人が拠り所となる絶対的なルールという意味のごとく自分を縛り付けることになってはダメなのです。多くの日本人は、幼少期からの学校教育によって、知らず知らずのうちに「真面目症候群」という病にかかっています。与えられた枠の中で真面目に努力することは美徳とされますが、それはその中に自分を閉じ込めることにもなりかねません。

本当に必要なのは、もっと自由に、常識破りの生き方をすることです。私の座右の銘は、「一休さんが残した「仏界入りやすく魔界入りがたし」という

言葉です。仏界とは、既存の価値観の中で真面目に努力し、評価される世界。真面目症候群の世界です。そこに入るのは比較的容易です。しかし、新しい価値を生み出すためには、常識の壁を突き破り、誰も行かない「魔界」へ歩いて飛び込んでいく必要があります。この魔界に飛び込む勇気を持った異端児こそが、新しい技術や芸術、思想を生み出すのです。

したがって、目指すべきは「不真面目」ではなく、「非真面目」な生き方です。これは心理学者の河合隼雄先生の言葉ですが、常識にとらわれた真面目さを脱却し、もっと自由に、肩の力を抜いて生きることを意味します。社長が感情的にならず、いつも笑顔でいることを社員が望むのは当然ですが、それは単に穏やかであるだけでなく、常識の枠に凝り固まらない「非真面目」な遊び心や余裕を持つことではないでしょうか。社員全員が魔界に入る必要はありませんが、リーダーがそうした型破りな人間を面白がり、受け入れる度量を持つことで、組織は活性化し、新たな成長の可能性が拓かれるのです。

5 町田宗鳳先生と知里さんの夢とビジョンをお聴かせください

― 365日東奔西走されて真理を追究し、

新しい宗教の在り方を追求し、縁ある人々と共に挑戦される町田宗鳳先生と知里さんの未来に向けた大きな夢とビジョンをお聴かせください。――

私たちの目下の目標は、御殿場高原にある「ありがとう寺」を、縁あふれる「緑の寺」として、そして多くの人が集う「心のオアシス」として充実させることです。特定の思想を説く場所ではなく、様々な人が自己表現できる「心のマルシェ」のような、誰もが訪れれば元気になれる楽しく美しい場所として充実させることです。

そして、私の昔から抱いてきた思いは、新しい宗教の形、すなわち、これから台頭するアジア文明の思想的な軸を定義づけることです。あらゆる文明にはその根底に思想的な支柱が存在しますが、アジアにはまだそれが確立されていません。

仏教、神道、儒教、道教、ヒンドゥー教といった多様な宗教の中から最大公約数となる普遍的な思想の軸を見つけ出し、アジアの人々が共に手を取り合えるような大黒柱を打ち立てること。それが、禅の修行、米国での学問、そして世界中を巡って得た知見を持つ私に課せられた最終的な使命だと感じています。

妻である知里は、その夢の実現を全

力でサポートするとともに、「ありがとう寺」を誰もが心安らげる「平安の地」として育んでいくことを自らの役割としています。

――社内報の読者に力と勇気と信念が沸き上がるメッセージをお願い致します。――

社内報の読者の皆様へお伝えしたいのは、「もっと非真面目に生きよう」ということです。真面目症候群から脱却し、常識の檻を取り払えば、人生はもっと楽しくなります。人生が楽しくなれば仕事も楽しくなり、それは自ずと会社の業績にも繋がっていくはずですよ。

現代の日本社会には、かつての祭りのように、人々が内なるエネルギーを爆発させ、精神のバランスをとるための「ハレの場」が失われています。日常の中に、自分を解き放つ時間と空間を意識的に作り出すことが、力と勇気と信念を持って生きるための鍵となるでしょう。

関根 今度「ありがとう寺」にうちのメンバーと行きますよ。

町田先生 ぜひいらしてください。魔界踊りでもしてください。



▲町田宗鳳先生と知里さんを囲んで、中村天風財団山田真次理事長、メンタルコーチ西田明さんと共に生涯青春!!



▲「うちのごはん」の可愛いキャラクターの前で。埼玉業務マネージャーの皆さん。

埼玉業務部 マネージャー

人見 綾



今回は清掃をお任せいただいております、埼玉キッコーマン様を訪問させていただきました。

「うちのごはん」の製造過程の動画視聴、工場見学、そして調理実体験、試食と盛りだくさんの内容で、同社の食の安全や労働安全への取組みや、うちのごはんシリーズの美味しい食べ方など多岐に渡るお話をお聴きしたことで、よりお客様への理解が深まる時間となりました。

皆さまもこのページを読んだ日の晩御飯は…「うちのごはん」シリーズをぜひお試しください!!



お話を伺いました!



埼玉キッコーマン株式会社
代表取締役社長 畑本修 様

Q1.商品開発でご苦労している点は何ですか?

A.うちのごはんブランドは「手作りをさらにおいしくすること」を大事にした価値提供を行っています。そのために、ひとつひとつの商品に手料理をおいしくする工夫を詰め込んでいます。お客様がどのように作り、食べることが豊かな食に繋がるかを徹底して考え、それを商品に具現化することに、苦労を重ねています。

Q2.新商品開発はどの様に進めていますか?

A.お客様が求める食の価値はスピーディーに変化しています。旬の野菜や価格の安定した食材などの「使用食材」、また、ターゲットごとに受容性を見込める「味わい」へのフォーカスはもちろん、火を使わない電子レンジ調理や、ほったらかし調理などの「調理方法」も重視し、適切に組み合わせさせて開発しています。

Q3.「うちのごはんシリーズ」の強みは何ですか?

A.「手作りをさらにおいしくする工夫が詰まっていること」です。具入りのそうざいの素なので、なるべく少ない食材で満足度が上がる仕上がりを可能にしています。例えば、キャベツやもやしなど水分の出やすい野菜を使う商品は、水分を抑えて野菜がシャキッと仕上がる特許技術を採用しています。



▶埼玉キッコーマンで作られているうちのごはんは25種類!!

● 「うちのごはんシリーズ」人気商品 ●

👑 キャベツのガリバタ醤油炒め

👑 なすの肉みそ炒め

👑 もやしのにんにく醤油

特許技術の「シャキッと製法」で手作りをよりおいしく!!



総務部 部長 植村 嘉文 様

暑い日が続く中、毎日の清掃や設備点検を丁寧に対応いただき本当にありがとうございます。

皆さんのおかげで快適な環境が保たれています。お忙しい中とは思いますが、どうか体調には十分お気をつけください。



総務部 中川 百々子 様

開設から10年経った今も、外部の方から「きれいな工場ですね」とお褒めいただくことが多くあります。

これは、SNB清掃スタッフの皆様の日々の丁寧な清掃のお陰です。心より感謝申し上げます。



▲動画視聴と会社概要のご説明
「うちのごはん」ができるまでの製造過程を
ご説明していただきました。



▲みんなの視線の向こう側では工場内作業が行われて
ています。植村様の説明にも興味津々。



▲ずらりと並ぶ、試食
の数々！
どれも美味しそう♪

埼玉業務部 浦澤 貴子

今回埼玉キッコーマン様のうちのごはんシリーズの商品をご紹介、ご試食させていただき、美味しくてビックリ！早速買って帰りその日の夕飯になりました(笑)。

添加物が入っていない事にも驚きで、これからは良き食卓のパートナーとしてお付き合いしていきたいと思っています！

埼玉業務部 石川 颯大

工場を見学し、商品の製造過程や品質へのこだわりを体感出来ました。現場の工夫や技術を知り、普段使う商品の背景への理解が深まりました。

埼玉業務部 中山 実智人

製造工程の見学を通して、御社の徹底した食品管理と品質へのこだわりに感銘を受けました。

調理体験も貴重で、混ぜご飯をはじめとする料理も大変美味しかったです。

素晴らしい機会をありがとうございました。

▼料理初心者の33期生中山・石川両マネージャーが調理に挑戦！



▲左：石川マネージャー
右：中山マネージャー



▲手を出さずにはいられない
浦澤マネージャー。



▲二人を後ろから見守る人見
マネージャー。

▼「頑張るぞ〜！」
埼玉キッコーマンの中川様
と一緒にガッツポーズ！



▲▶
試食はお任せください。国藤部長&塩崎
マネージャー。



▲本日は貴重な体験、お話しをありがとうございました！
これからも埼玉キッコーマン様が安心してお仕事ができるような
環境づくりのお手伝いをさせていただきます。畑本社長、植村様、
中川様と埼玉業務部のメンバーで生涯青春!!

社員紹介

Vol.7



▶
経営方針を従業員に伝えます。社員研修会にて。



照井 洋輔(てるい ようすけ)
(開発営業部・1999年入社)

Q.仕事内容は？

彩の国マルシェのマネジメントにより、そこから民間はもちろんのこと公共施設の新規営業波及をしています。また、警備保安も担当しています

Q.仕事をする上でのこだわりは？

とにかく人と会い、人と話し、生の情報をつかむこと(感じ取ること)。



▲「無」の境地を満喫しています！
一人トレッキング

Q.プライベートについて語って！

個人の飲食店を妻とめぐる。そこには必ず常連客がいて、店主や常連との会話は最高の酒の肴です。昨年一人トレッキングにハマっています。木々のざわめき、せせらぎの音、鳥の声、葉や土を踏みしめる自らの歩行音と呼吸音。機械音が全くしない世界は自らを「無」の境地に誘ってくれてハマっています。

Q.部下から見た照井さんってどんな人？

業務では的確にご指導くださり、飲み会では気さくな一面も垣間見え、そのギャップが魅力満点です。
(服部)

飲み会でワインをジョッキで豪快に飲んでいらっやって驚きました！(小嶋)



▶
日々監視をしています。



高橋 圭佑(たかはし けいすけ)
(DX推進部・2020年入社)

Q.仕事内容は？

清掃ロボットが安全かつ問題なく運行できるようみまもりサポート業務を行っています。
また、不具合が起きた際は現場と連携し、改善に努めています。

Q.仕事をする上でのこだわりは？

各ロボットに対する操作技術は誰よりも持っています。日々安全に動かすことが出来るよう、定期的に遠隔復旧やマップ修正を行っています。



◀
目に入れても痛くないとはこのことか
…親ばかりです(笑)

Q.マイブームについて語って！

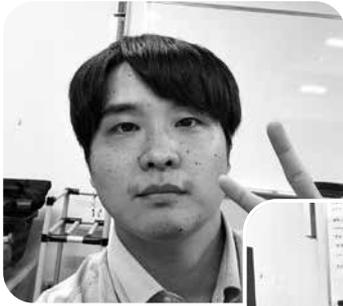
2024年2月に第1子の柊(しゅう)が誕生し、すくすくと成長をしている姿を見ていることが1番の楽しみです。目がクリクリで誰もが目を奪われていくような完璧で究極のアイドル並みのルックスです！妻が第2子を妊娠中のため、今後もスター誕生に要注目です！

Q.同僚の吉田純さんから見た高橋さんってどんな人？

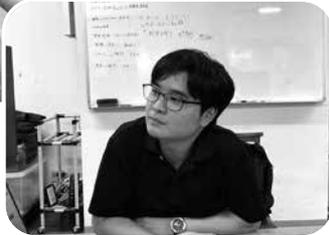
同い年であり配属も同期ですが、頼れる兄貴や先輩のように頼もしい存在です。同い年の息子を持つ父同士、一緒に頑張りましょう！



SNBファミリー



▶
質向上会議でメンバーの意見を聞いている。



中山 耀太(なかやま ようた)
(横浜支店・2016年入社)

Q.仕事内容は？

神奈川エリアを中心に清掃・設備・ロボットなどの対応をしております。支店長1年目として若いメンバーと一緒にお客様へ最適なサービス提供ができるよう取り組んでいます。

Q.仕事をする上でのこだわりは？

自分に負けないこと。(克己心を持つ)
自分が大丈夫と思っても、相手は困っているかもしれない。だから今日の仕事は今日やる。

Q.趣味orプライベートorマイブームについて語って！

最近では妻と一緒に北海道日本ハムファイターズを応援しています!!今年もエスコンフィールドに観戦に行ってきます!
あとは昔から戦国武将が好きなので、お城巡りをたまにしています!!

Q.後輩のお二人から見た中山さんってどんな人？

根暗な性格ですが、距離を縮めれば笑ってくれます。笑顔を作ってあげてください。笑(山下駿)
まだまだ若手の支店長です。育成中につき、優しく見守ってあげてください。(齊藤利旺)



◀
観戦したときの写真! 勝ちました!!



▶
姫路城! 上手に撮れました!!



▶
完全防備であしながバチを駆除!



松延 慧(まつのべさとし)
(ファシリティ事業部・2017年入社)

Q.仕事内容は？

現在は設備管理業務を主としています。現場に常駐してお客様の施設と設備の適切な維持管理に努めています。

Q.仕事をする上でのこだわりは？

現場に関わる方が困らないように、不具合対応や小修繕など、細かいことでも記録を残すようにしています。

Q.趣味orプライベートorマイブームについて語って！

・映画・ドラマの視聴: Fallout(シーズン1)
非常に良かったのでお勧めです。
シーズン2も間もなく始まるので、興味がある方は是非!

Q.後輩の毛塚さんから見た松延主任ってどんな人？

最初は硬い方という印象でしたが、業務を共に行ううちに、柔軟な対応をすぐに導き出すスマートな人なのだと思います! また仕事からは想像しづらいおっちょこちょいな面があるのもびっくりしました(毛塚)

▼SF系の海外ドラマにハマっています!





憩いのコーナー さわやか広場



松下設計様 ご来社

2025年6月20日(金)



埼玉県を代表する設計事務所 松下設計の松下社長様と野田部長様を囲んで生涯青春!!地域社会の課題解決に協業します。

角上魚類ホールディングス様 ピーアンドディコンサルティング様 ご来社

2025年6月25日(水)



日本一の魚屋 角上魚類様と、豊かな地域の創造・発展に寄与するP&Dグループ様と共に生涯青春!!

野村不動産パートナーズ様 野村不動産アメニティサービス様 ご来社

2025年7月23日(水)



熱血漢の問田和宏社長様と熱誠溢れる遠藤郷史社長様を囲んで生涯青春!!新たな価値創造に共に挑戦します。

見沼区ロードサポート

2025年6月19日(木)



JR東大宮駅西口駅前通り花壇を通じて花と緑に包まれた街づくりを目指します。



彩の国マルシェ 埼玉スタジアム初開催!!

2025年7月21日(祝)



スタンドをのぞめる開放的な会場で、風が吹き抜けるとても気持ちの良い空間でマルシェを開催しました。



発行日 2025年9月10日
発行所 新日本ビルサービス株式会社
〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-22-11
電話 048-667-3900 FAX 048-667-3663
ホームページアドレス <https://www.snb.co.jp/>
発行人 関根一成
編集者 SNB社内報委員会
印刷所 ㈱秀飯舎 〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田70番地

編集後記

102号からスタートした社員紹介のページ。ご存知でしょうか? 毎号4名の従業員に登場していただいています。登場していただく方の部署や年齢は様々。もしかしたらこのページで初めて知る人がいるかもしれない! 普段なかなか接することはないけれど、このページがSNBファミリーの親睦を深めるきっかけになってくれたら嬉しいです。次号以降に指名された方はよろしくをお願いします!! (E.O.)